

# またのしょうちかのうか 俣野小近くの農家さんにインタビューしました！



またの Q.俣野でどのくらい農業をやっているのですか？

A. ひいおじいさんの頃から農業をしています。  
ゆきひろ 幸宏さんで3代目、ひろあき 寛晃さんで4代目になります。

しぶや 幸宏さん



しぶや ひろあき 寛晃さん



Q.どんな野菜を栽培していますか？

A. かぶ、ほうれんそう、かぼちゃ、じゃがいも、きゅうり、  
キャベツ、米の7品目です。ハウス、畑、水田があります。



かぶ畑は俣野小のすぐ近くです



ほうれんそうのハウス



Q.どこで売っているのですか？

かかく  
価格はどうやって決めるのですか？

A.以前は市場へ出荷していましたが、今はスーパー、わいわい市、学校給食におろしています。価格は前日に決めることが多いです。わいわい市に出すときは、他の農家さんの同じ品目とくらべて、価格を決めることもあります。



またの  
Q.俣野で農業するメリットをおしえてください！

A.亀井野や西俣野地区は市街化調整区域とって、新しい建造物を建てるのが制限されています。そのため、家が少なく、広い畑がたくさん残っています。また、あとつぎの若い世代が多いのも特ちょうです。わいわい市のように大きい直売所があるのも便利ですね。



またの  
Q.俣野で農業をしていくうえで大変なことは？

A.台風や大雨などによる被害が大きいです。海が近いので塩害（塩分をふくんだ潮風による被害）を受けやすく、大雨の時に川の水があふれて水田に流れ込んでしまったときは大変でした。



またのねんちいきへんかおし  
**Q. 俣野50年の地域の変化を教えてください！**

またのしょう  
A. 俣野小ができる前は、この地域の子どもたちはみんな六会  
しょうかよむかしまたのしょうまわいちめんはたけかめ  
小に通っていました。昔は俣野小の周り是一片畑で、亀  
いのだんちひこうじょういま  
井野団地は飛行場だったのです。グラウンドも今よりもっと  
きおおともきのほあそ  
木が多くて、友だちとよく木登りをして遊んでいました。  
きゅうしょくしついまねんまえ  
給食室やランチルームができたのは今から27年前です。



またのしょうがっこうちさんちしょうこう  
**Q. 俣野小学校は地産地消モデル校になってい  
ます。モデル校農家をやっていて、気をつけて  
いること、大変だったことはありますか？**

A. かぼちゃやじゃがいもなどは、きゅうしょくだひあ  
給食に出す日に合わせて  
しゅうかくじゅくせいちょうりいんさぎょうかながやさい  
収穫・熟成をしています。調理員さんの作業も考えて、野菜  
おおちよくばいじよだきかくあじしんせん  
の大きさを直売所に出す規格とかえたり、味がよいもの、新鮮  
もの  
な物をえらんだりして納品しています。のうひん

こ  
子どもたちが食べるものなので、  
よりよいものをつくらなければ！と  
いうプレッシャーもかんじています。





Q.モデル校農家をやっていて、よかったことを教えてください！

A. 子どもたちや栄養士さんに直接おいしいと感想を言われると、とてもはげみになります。おいしい野菜を作ることによりがいを感じます。

またのしょう俣野小には、とれたての新鮮な野菜を届けているので、スーパーに仕入れされたものとは味が全然ちがいます。新鮮な野菜を食べて、野菜ざらいな子が少しでも野菜を好きになってくれるとうれしいですね。



地質は畑によって全く異なるそう。土の状況を見て育てる野菜を決めています。

肉厚でりっぱなほうれんそうです！



渋谷さんありがとうございました！  
これからもまたのしょう俣野小においしい野菜をとどけてください！